

原発再稼働阻止 全国ネットワーク ニュース



〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-1-1 高橋セーブル 1Fたんぽぽ舎気付

ニュース 21 号
2021 年
4 月 25 日

発行：再稼働阻止
全国ネットワーク
(070-6650-5549)

再稼働阻止全国ネットワークの果たした役割と今後の課題

全国原発現地をつないだ。関西の前進と経験に学ぶ。

東日本でも前進をめざそう！

柳田 真（再稼働阻止全国ネットワーク共同代表）

① 再稼働阻止全国ネットワークは2012年11月に300名で結成された。（東京文京区民センター）以後10年の活動は再稼働阻止に一定の役割を果たしたと思う。阻止まではできなかったが、巨大な電力資本と自公政府の全力での再稼働の動きに対して、精一杯闘い、彼らの思うとおりにさせなかった。再稼働原発のスピードを遅らせたと思う。この活動の中で、全国の原発現地の人々を結びつけたことも大きい。

② 東電福島第一原発事故から10年の2021年3月11日は、東電本店合同抗議実行委員会（経産省前テントとたんぽぽ舎の呼びかけ、139団体賛同）の主催で東電本店前で650名の大きな集会ができた。3月27日の日比谷集会（1500名）の後、4月12日（月）、13日（火）には首相官邸前の集会に参加してトリチウム海洋放出決定・暴挙に

3/11 東電本店抗議 650名参加



反対する運動の一翼を担った。トリチウム問題は東電福島原発事故が10年経過しても依然、何も終息していないことを示した。「2年後に海洋放出の予定」に対し、陸地貯蔵継続を求める現地と連帯し、今後

2年間、東電本店を攻める積極的な行動方針が課題だ。

③ 関西の運動の前進（老朽原発うごかすな）に学んで私たちも行動しよう。

関西では「若狭の原発を考える会（木原さん他）」が軸となり、関西電力の老朽原発をうごかすな！運動が大きく前進している。コロナ下にもかかわらずアマーバデモやリレーデモ、100万近いビラ配布、福井での現地行動、関西電力本店包囲など多くの行動を工夫し、広い戦線を作って実施されている。この教訓は大きい。例えば10年前の福井県での公園での集会で、手製のゼッケンをつけて一人で参加されていた木原さんに声をかけて、はじめて知り合った時からのことを思うと感無量である。

④ 茨城県東海村にある日本原電東海第二原発（110万kw 沸騰水型）が2022年9月に実質再稼働するという。原電社長の記者会見の発表の12月よりも3ヶ月も早まった。私たちの運動の盛り上げ、体制づくりが急がれる。

東海第二原発は稼働して43年目の老朽原発。日本一、事故率の多い原発。10年前の東日本大震災のときは「あわや」という直前までいったいくつきの原発。もし再稼働すれば、原発事故をおこす。それが大事故ならば、東京圏は放射能のまちになってしまう。住めない都市になってしまう危険がある。なんとしても再稼働を阻止したい。

（次頁に続く）

鹿砦社発行の NO NUKES voice26 号－2020 年 12 月発行の 121・122 頁の〈東海第二〉大石光伸氏の文も参照下さい。

⑤ 東北電力女川原発も民意を無視した宮城県村井知事の「再稼働同意」で再稼働の時期が近づいて来ている。これについては季刊 voice27 号の 117 頁の館脇章宏氏(みやぎ脱原発風の会)の文も参照下さい。

⑥ 再稼働阻止全国ネットワークは大きな組織ではないが、影響力はかなり大きかった。全国の皆さんと力を合わせて実体以上の活動をやれてきたせいだろう。10 年前の発足時と違い、「とめよう！東海第二原発首都圏連絡会」の発足後は、ダブルで担当している人々も増えた。忙しいがやりがいのある(ありすぎる)活動だ。私たちと子供、孫たちの未来のためにも悔いのない活動をやり続けたい。「日本の原発の廃止決定の日をみるまでは死ねない」の気持ちで活動できればと願う。

何度でもフクシマを訴えていく

黒田 節子(原発いらない福島の女たち)

『…ここにいる皆さんと出会えたこと、あなたと出会えたことを本当に嬉しく、また誇りに思っています。高橋哲哉さんは、沖縄と福島の共通項を語り、「犠牲のシステム」を止めていこうと提案しています。弱者の犠牲の上に成り立つ暮らしやシステムは、即刻やめるしかない—これに私たちは強く共感します。また、沖縄には「ヌチドウ宝」という言葉があります。命をいとおしみ、命と共に、命に添った生き方に私たちが帰っていくことができるのかどうか？とりわけ、女たちの手で、女たちのやり方でそれができるのかが試されていると感じています。

混沌の時代は、変革への時代であり、今こそ「私たちの時代」—とも言えるのかもしれません。一人ひとりが熱い開拓者・志を高く掲げたパイオニアとなってこの世界を生き抜こうではありませんか。これからも私たちはこの地球に生きていきます。皆さん、どうか、福島を忘れず、福島で起きていることを世界中に伝え続けて下さい。私たちと共にいて下さい』(以上は、2012.3.10 第一回「女たち」の集い宣言文より一部抜粋)

初めての集会に向けてヒートアップした頭の中で、当日早朝に書いたものだった。



2021 福島カレンダー

あれから 10 年。フクシマはどうなったか？無残である。ここで列記することはできないが、流れは偽りに満ちた「復興」オリンピックと汚染水海洋放出(案)へと続いている。10 年前の決意を思い出し、何度でもフクシマを訴えていこうと思ったことです。

再稼働阻止に向けて、 運転差し止めで勝訴！

披田信一郎(東海第2原発の再稼働を止める会)

8 年越しにたたかってきた日本原電相手の「運転差し止め訴訟」で、3月18日、水戸地裁で勝訴しました。前田英子裁判長による800頁の長大な判決書でしたが、主文はシンプルに「深層防護によって安全が担保される法規制になっているところ、その第5層の住民避難計画やその体制が出来ていないか、実効性がないので、30キロ圏内居住の原告について人格権の侵害にあたる危険性があり、予防的に運転差し止めが認められる」と。

正確には、原告 224 人のうち 30 キロ圏内の原告が勝訴、それ以外の原告は敗訴であり、内容的にも 1 層から 4 層の技術的な危険性や地震・津波等の想定の不十分さを指摘した論点については、規制委員会の新基準が不合理や過誤があって差止めるべきとまでは言えないとして認められなかった敗訴でもあります。



3/18 水戸地裁前

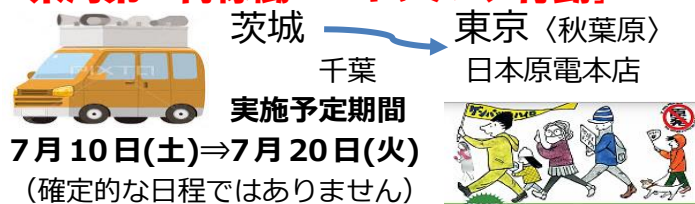
日本原電側の控訴と、敗訴原告も控訴を行い、今後は、東京高裁で「被告原電」相手の第二ラウンドに入ります。

この第5層の避難は、規制委員会の審査対象でもなく、事業者の責任も問われず、周辺自治体に計画や避難後の責任が負わされ、その計画や体制を本当の意味でチェックする仕組みもないこの国の原子力規制体制の穴を裁判所は明らかにして、その不十分さをもって運転差し止めの司法判断を下したことの意味は極めて大きいと思います。

今後、裁判外での自治体への働きかけや、住民自身に分かりやすい結果を伝えていくことなどを通して、再稼働を断念させ廃炉にさせるたたかいを一層強めていかなければならないと決意しています。そのために、「東海第二再稼働NOキャラバン行動」を7月に行います。高浜1、2、美浜3とともに「老朽原発動かすな」のたたかいを、首都圏、全国の皆さんとともに、東海第二でも勝利します。

老朽被災原発-東海第二うごかすな！

「東海第二再稼働 NO キャラバン行動」



過疎—安全神話—福島事故

——未来へ

佐藤 英行（北海道岩内町）

「わたしは、村（泊村）中がみんな過疎病にかかっているんじゃないかっていうんです。それも重体ですよ。」「東京へ出た人間は、誰もが、村は今のままがよい、観光地にさえならない方がよいという。だけど、あんたたちは、正月か盆に、数日、息抜きに帰ってくるだけだ。あなたたちにくらべれば、原発推進派の連中のほうが、少なくとも真剣に村のことを考えている。」（『展望』1971年6月号田原総一郎『「過疎」—都市が仕掛けたこの罠』中のインタビューより）

原子力発電所は設計するときに「固有の安全性」を持つようにつくられています。お酒を飲めば飲むほど、にがくなって、自然に飲みやめてしまうという体質の方もいらっしゃる。原子力の用語

でいえば、こういう方は「固有の安全性」を持っている、ということになります。原子力発電所があったら恐ろしくてしょうがない、というくらいの心配性の方は、まず飛行機から退治したほうがよいかもしれません。飛行機が落ちて下敷きになる危険性のほうが数百倍もあるわけですから。（1977年10月朝日新聞科学部大熊由紀子講演「原子力と平和利用」北海道経済連主催より）

国内原子炉の炉心損傷に至る事象の発生率は、評価の不確かさを考慮しても 10^{-5} /炉年より小さい。（改訂13版2011.3.10発行原子力安全委員会指針集「シビアアクシデント対策としてのアクシデントマネージメントについて」平成4年5月28日決定より）

2011年3月11日、東京電力福島第一原子力発電所が事故を起こし $10^{-5} \times 10^{-5} \times 10^{-5}$ /炉年に一度より小さいはずの1,2,3号機で炉心溶融が起きた。

あれから10年、新たな安全神話がカーボンニュートラルという言葉に変えて広まりつつある。

高レベル放射性廃棄物最終処分場の文献調査受け入れを、神恵内村と、寿都町が決めた。

泊原発隣接地である神恵内村は原発関係の交付金が交付されているが地場産業は縮小し人口は805人まで減少した。

泊原発を遠望できる寿都町は自治体所有の風力発電を有しているがもうじき20年がくる。過疎地で将来財政不安を持つ自治体を20億円の札束で人々の心をたたき、科学的特性マップでも土地が確保できないところに強引に国は刺さりこんできた。

両町村を取り巻いている自治体は、核ごみ拒否条例制定や意見書の採択で核ごみ拒否の意思を国、NUMOに鮮明に打ち出している。経産省はこれに驚き、周辺自治体でも「対話活動」に取り組まざるを得なくなった。

福島第一原発事故を起こした安全神話に私たちはもう騙されはしない。福島を忘れることなく、新たな安全神話に抗して全原発の廃炉にむけた闘いを進めて行かなければならない。



パンフレット/動画配信 『知ってましたか？ いま地層処分してはいけない8つの理由』（行動する市民科学者の会・北海道）

青森から—

汚染水海洋放出に満腔の怒り

中道 雅史（再稼働阻止全国ネットワーク青森）

4月13日、菅政権は東京電力福島第一原発の敷地内タンクに貯まるトリチウム等汚染水の海洋放出を正式決定した。危機に駆られたこの大きな踏み込みを絶対に許すことは出来ない。満腔の怒りをもって弾劾する。

汚染水海洋放出について視点を青森に向けてみよう。六ヶ所再処理工場では同じことがもっと大掛かりに行われる。本格操業されれば福島の10倍もの汚染水が海洋放出される。すでに、2006年の「アクティブ試験」では国内の全原発からの年間放出量をはるかに超えるトリチウムを、たった1か月で放出した実績を持つ。再処理工場がフル稼働すれば、毎年まいとし、膨大な量のトリチウム等汚染水が放出されるのだ。

私は、今回の菅の決定／強行を、六ヶ所再処理工場本格操業—核燃サイクル維持—自前の核武装への露払いと考える。ことは、すぐれて政治的である。「3.11」以降の劣勢からの、「10年」を画期とした強烈な反撃なのだ。

この「10年」の闘いを反省し、とらえ返し、これからの「10年」に立ち向かう。青森から、もうこれ以上放射能を出さないという不退転の決意を、私は改めて確認したい。また併せて、青森の闘いは反戦（反基地）—反改憲—反核（反原発）が一体のものでなければならないということを、再確認したい。

「地震の巣」に近い女川原発の再稼働は怖すぎる

舘脇 章宏（みやぎ脱原発・風の会）

2020年11月に村井宮城県知事が女川原発再稼働の「同意」をして、推進派はあたかも決まったかのように思っているのかもしれないが、そうは問屋が許さない。東北電力は安全対策工事が2022年度までかかるとしており、まだまだ再稼働を止めるチャンスはある。

今年2月13日と3月20日に、石巻で最大震度5～6の大きな地震が発生した。とくに3月の地震の震源

地は、まさに原発のある牡鹿半島のすぐそばだった。「女川原発は世界一地震津波の影響を受ける」という識者もいるほどだが、度重なる地震でどれだけ損傷があるのか、いまだ正確には分からない。

仮に事故があっても、牡鹿半島の先端の住民をはじめ、UPZの21万人が安全に逃げる方法はなく、住民説明会でも国は「避難計画は机上でつくった」と告白しているほどだ。

また、福島第一原発と同じBWR(沸騰水型)マークIである女川原発が宿命的に抱える構造的欠陥に改めて焦点をあて、再稼働がいかに危険なことであるのかを共有するため、4月18日に田中三彦・後藤政志の両氏を講師にオンラインシンポジウムが開催され、200名以上が参加した。

さらに現在、「さようなら原発みやぎ実行委員会」が全県民向けに「ちょっと待って女川原発再稼働」と題したカラーパンフの配布を開始している。

3月31日「河北新報」世論調査でも再稼働同意を「支持しない」との回答が60%に上っているが、この配布運動は更に県民世論を掘り起こすことを目的としている。そうした地道な活動を進めつつ、株主総会や公開質問などを通じて東北電力を追い詰めていきたい。全国から女川原発にぜひご注目をお願いします。

新潟県・柏崎刈羽より

刈羽村議会議員 近藤 容人

柏崎刈羽原発絶対反対地元住民

東京電力HD(株)は、柏崎刈羽原発7号機を再稼働させようと、経産省、エネ庁、規制委員会とグルになって昨年秋から策謀を巡らせていました。

審査終了日の10月3日前後、9月以降だけで42回もエネ庁長官、次長などが新潟県を来訪していたのです。然し、本年1月23日、IDカードの不正問題を全国紙が暴露してから、これでもかというほど次々に大問題が白日の下に出て来て、立ち往生しています。

そして、東電HDは「2021年6月」としていた営業運転の開始を「未定」と変更しました。2月26日の事です。

そもそも東電は、津波対策を怠った為、全電源を喪失しリアクターを冷却できなくなり、レベル7

の世界史に残る最悪の原発事故を起こした張本人です。所有する全 17 基は停止中であり、福島 10 基はこれ全て廃炉が決定、柏崎刈羽原発 7 号機ただ一基の再稼働も余りのデタラメぶりに、推進派も含めた強い再稼働反対のウネリに屈服した形です。

東電は、新々・総合特別事業計画（2019.4.23）で福島事故への対応即ち廃炉・賠償等をやり遂げる事こそが存続を許される原点であると繰り返しています。然し、デブリ問題 1 つとってみても、デブリの所在すらわからないでどうするつもりか！ 又、賠償などできない。善良な罪のない住民の故郷等何もかも奪ってにおいて、「フザケルナ！」と言いたい。

規制委員会は柏崎刈羽での核燃料の移動を禁じる、是正措置命令を出したが、花角新潟県知事は原子力規制庁長官に、そもそも東電に原子炉の運転を的確に遂行する技術的能力があるのかという点で、原子炉設置変更許可の評価をし直してもらいたいと要望しました。

脱原発の前途は明るいと確信し、設置許可の取り消しめざしてがんばります。

福島事故から何を学んだのか

石地 優（福井県在住）

福島事故から 10 年が経ちました。事故をみて原発は無くなると思っていたのに、福井では大飯原発、高浜原発が再稼働し、今 40 年超え老朽原発美浜 3 号、高浜 1、2 号機の再稼働が迫っています。

人口 80 万人弱の福井県に 15 基もの原発が造られ、福島事故後最初に再稼働されたのも大飯原発でした。そして今再稼働している 9 基の内 4 基が福井の原発です。そして老朽原発の再稼働が、福島事故前の立地町、福井県の了解というしくみで踏襲されようとしています。UPZ（30 キロ圏）まで避難計画の策定が求められているにも拘わらず何故同意権が立地以外の自治体に無いのでしょうか。高浜原発の隣接の市である京都府舞鶴市は、PAZ（5 キロ圏）の住民がいるのに声は無視され続けています。

福井県での原子力避難訓練は福島事故後住民参

加を増やしていき、一昨年は 1000 人を超える住民参加訓練をしました。ところがコロナ禍の昨年の訓練では、たった 30 人の住民参加でした。それなのにコロナ禍の避難訓練が出来たと評価しています。

さて、今年地方紙 14 紙が行ったアンケートでは、福井県民に限ると、原発活用反対が 60%、周辺自治体の同意を加えるが 74%、避難計画の実効性は難しいが 52%でした。

今回の老朽原発の再稼働判断で、福井県知事がしようとしている判断は福島事故前の仕組みの活用です。県の判断とアンケートからみる県民の考えを比べると、福島事故から何を学んだのかの違いが分かります。福井県知事はもっと県民の声を尊重し福島事故の教訓を学ぶべきです。

3/20 高浜町文化会館



高浜・美浜老朽原発を動かすな！ 福井県議会へ集中行動を

杉並区議会議員 けしば 誠一
反原発自治体議員・市民連盟

《3月福井県議会で再稼働同意見送り》

2月12日福井県知事は、経産相、資源エネルギー庁長官、関西電力社長と面談後、関電が反故にした昨年12月までの県外の間蔵施設設置の約束を、2023年末まで延期することを認め、2月16日県議会冒頭に、高浜1、2号機、美浜3号機の再稼働に向けた議論を促しました。「原発再稼働に反対する全国自治体議員・市民の会」は同日、自治体議員249名の連名で、老朽原発の運転延長を認めないよう県知事に要請、福井県議会に陳情書を提出。



3/20 高浜原発ゲート前

県議会では自民党からも「同意できる状況にない」「国に求めている振興策などに回答がない」と異論が出て紛糾し、3月議会での再稼働同意を見送りました。

《5—6月議会に向けた請願に全国から賛同を》

ところが4月6日資源エネルギー庁が福井県に対し、高浜・美浜両原発に関する電源3法交付金として新たに1原発25億円、最大50億円を出す方針を伝えたことで、県知事は県議会議長にこれを説明し、あらためて再稼働論議を進めるよう求めました。4月中に全員協議会で議論し、5月—6月定例会で同意することが予想されます。議員・市民連盟はこれに備え、4月8日に県議会に陳情書を提出、5月臨時会—6月定例会に向け、全国自治体議員の連名で再度の請願を4月19日に提出しました。

避難計画が不備な東海第二の再稼働停止を命じた水戸地裁判決を真摯に受け止め、40年越えの老朽原発は運転延長ではなく廃炉を決断するよう求め、県知事と県議会に集中行動を行います。引き続き全国からのご賛同をよろしくお願いします。

50年の反対運動から未来へ

名出 真一（伊方から原発をなくす会）

伊方原発反対運動は1969年に計画が表明化してから現在まで続いています。原発計画は、伊方町の南50キロの場所に計画がされていました。反対運動で断念。その失敗のもとに秘密裏に計画され、土地買収も原発とは言わずに進められました。

全国どこでもそうかもしれませんが、原発建設はその計画当初から嘘と金と権力によって暴力的に行われてきたことを住民の方から教えられました。地域のつながりを分断され、生活を壊されながらも反対の意思を貫き通した方々の多くは、残念ながら鬼籍に入られました。

私たちはこの50年続く反対運動の一端でも引き継いでいきたいと思い、現地行動を続けています。伊方はその地形から生活環境が過酷です。小さな集落が崖に張り付くように点在しています。孤立すれば生きていけない。「本当は原発なんかないほうがいいが、反対とは言えん」という言葉を何度も聞きました。政策として農漁業を破壊し、そこに誰も望まない原発を押し付ける。差別の上でしか成り立た

ない発電方法をいつまでも許しておくことは、私たち自身が犯罪に加担していることでしかありません。

原発を許さない闘いは、社会そのもののあり方を変える闘いであり、自分たちの生き方を問う闘いだと思います。差別を許し、他者の苦しみの上に生きることには、はっきりとNoを突きつけていきます。

裁判所の不当決定によって伊方原発は10月に再稼働を予定しています。「再稼働は絶対に許さない！」ために8月28日「伊方原発動かすな！！現地集会」を行います。全原発廃炉！

川内原発、20年延長許さない

杉原 洋（ストップ川内原発！
3.11 鹿児島実行委員会事務局長）

鹿児島県にある川内原発1・2号機は80年代に運転を始めた。廃止または20年延長された原発を除き、日本で1番目・5番目に古い。寿命の40年まであと2・3年だが、特重施設建設に2420億円をつぎ込んだ九電は、その回収のため20年延長を申請するのは確実だ。

私たちは、この40年近く危険な原発と隣り合わせに暮らし、地震のたびに異常な緊張を強いられてきた。事故の危険性が格段に強まる老朽原発の運転延長など真っ平だ。

菅政権は、原発回帰を露骨に主張している。福井、茨城の老朽原発稼働に執着し、宮城では被災原発の再稼働まで狙っている。「2050年に温暖化ガスゼロ」が隠れ蓑だ。原発は運転中にはCO2を出さないかもしれないが、放射能は出し続ける。温排水による熱汚染も深刻だ。核のゴミ処理の見通しは全くつかない。大隅半島の南大隅町では最終処分場誘致のうごめきが止まっていない。

後の世代へのツケ回しをくい止めるのは、現役世代の責任だ。産業・財政基盤の弱い地方を狙い、頬を札束でひっぱ叩くのはやめろ！

九電は、新電力による太陽光・風力発電の出力制御を続ける唯一の電力会社だ。安心・安全の発電を妨害し、自社利益のため原発にすがりついている。

原発の電気を買うのはやめよう！電力多消費社会を見直そう！原発のない人の命と尊厳が大切にされる社会を目指そう！

原子力規制委員会・経産省を 攻め続けよう

木村 雅英（全国ネットワーク事務局）

「危険すぎる老朽原発動かすな～
若狭の不具合続出原発・老朽原発の再稼働と
運転延長を問う～」

去る3月2日の院内ヒアリング集会で、木原壮林さんとともに原子力規制庁を攻めた。原子力マネー還流・大飯差止大阪地裁判決・高浜大飯トラブル続出・蒸気発生器事故・経年劣化等の指摘に、担当はむによむによ言い訳し、「審査に合格しても絶対に安全ではない」「関西電力が信用できるとは思っていない」と居直った。

「原子力規制委員会は再稼働推進委員会」

規制委発足以来、私たちは六本木の原子力規制委員会の「新規制基準」と審査を糾弾した。再稼働確定時の抗議行動、院内ヒアリング集会、行政不服審査法に基づく審査請求など。メディアも報じてくれ「再稼働推進委員会」の汚名提供に貢献している。東電の核物質防護違反を隠して柏崎「合格」もひどい。

緊急時避難不可能！で攻め続けよう

3月18日の水戸地裁判決は画期的だ。規制委が内閣府・自治体任せにしたIAEA深層防護第5層の実現は全国どこでも不可能だ。

敵を知り己を知れば百戦殆うからず

イチエフ事故、「国民」の反対多数、再エネ進捗、…にも拘らず私たちはなぜ勝てないのか？

メディアだけに頼らず敵（経産省・原子力規制委員会・電事連他）を知り、ITの活用など闘い方を工夫し、反原発の根源的な理由を訴え続けよう。まずは第六次「エネルギー基本計画」だ。「意見箱」に意見を出そう、私は30通送った。



毎週水曜日、規制委員会開催日に市民有志で行われている原子力規制委員会前昼休み抗議行動

4/13 放射能汚染水の海洋放出 閣議決定への抗議行動

天野 恵一（全国ネットワーク事務局）

菅政権は4月13日、東京電力福島第一原発の放射能汚染水を大量に海洋に放出し続ける方針を閣議決定した。事故後10年で、陸上保管を続けてきた対策の、方針の大転換である。放出開始は2年後から、との見通しだという。汚染水処理については「現地や漁業者などの関係業界」の人々の論議を尽くした上での「国民的合意」のもとではじめて決定すると公言していた政府の、反対の声に包囲されている中での、論議不在の強行である。

13日、私たちは、韓国・「中国」の参加者と共に、「さよなら原発1000万人アクション実行委」の呼びかけの首相官邸前の抗議行動に合流（320人参加）。

「廃炉を進め、福島復興を成し遂げるためには避けて通れない」「安全性を確実に確保した実施」などという政府（首相）の主張にまったく科学的根拠がないことは、すでに大量な論証がなされている。さらに問題はトリチウムの危険性だけではなく、ALPS処理水はそれ以外の危険な放射能核種を規制基準以上に含むものであることも、すでに明らかにされている。

だから、政府は「風評被害」のダメージは東京電力に賠償させるなどという方針をも示しているが、被害は「風評」などではなく、とてつもなく恐ろしい実害なのだ。タンクのための空き地はある。それでも海洋放出で、「放射能はコントロールされている」という世界に向けた大嘘で呼びよせたオリンピックをコロナ感染拡大で強引に実施するための、放射能汚染水これで解決（コントロール）という、イメージ操作。人命より金（オリンピック）の〈アベ継承スガ〉政権（と東京電力）。「海洋放出」も、原発再稼働も、断じて許されない！



4/13 首相官邸前抗議 320名

「老朽原発うごかすな！大集会 in 大阪」

6/6(日) うつぼ公園 開催決定

会場：大阪市うつぼ公園

開会：13 時

デモ：14 時 30 分 出発

最寄り駅〔地下鉄四つ・中央線

本町駅下車 25～28 番出口〕

主催：老朽原発うごかすな！実行委



《再稼働阻止全国ネットワークからのお知らせ》

2020 年度会計報告に代えて

3.11 福島第一原発事故から 10 年が経過し、政府は放射能汚染水の福島沖海洋投棄を決め、一方で原子力規制委員会は東電の柏崎刈羽原発への管理能力欠如に対し 1 年以上の再稼働延期を命じました。

さらに政府は 2050 年「脱炭素化」社会に向けた「第 6 次エネルギー基本計画」で老朽原発維持、新增設を隠そうともしません。私たちは多重的な原子力推進方針に対し、脱原発へ向けたより一層の取り組みが必要です。再稼働阻止全国ネットワークは 2012 年 11 月 10 日に「結成宣言」してから 8 年 5 ヶ月が経過しました。同封の改訂版リーフレットでこれまで確認してきた原発の危険性と問題性を列記しました。絶対に「フクイチ」事故を再現させない！再稼働を STOP させる！を全国の原発立地の仲間と共に追求します。

会計報告書にあるとおり団体会費の納入減少が目立ちます。新たな 10 年を見据えた活動資金の設計も重要な課題です。これまでの会計反省点を含め、会費納入の見直しを別紙の通り提案しますのでご確認ください。

皆さまにはコロナ禍の変異株が増大する中、健康維持には充分ご注意ください。今後とも会費・カンパのご支援・ご協力を得て、2021 年

度も赤字なしの会計報告が出来ることを切にお願いする次第です。 会計担当：石鍋誠、中村泰子

【2020 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月）会計報告】

《収入》

前年度繰越金 ①	828,992
個人年会費(69件)	208,900
団体年会費(2件)	9,890
カンパ振込(71件)	454,030
カンパ現金	69,284
事務局カンパ(会議費)	36,400
資料代	65,000
雑収入	6,110
収入計 ②	849,614
合計①+②	1,678,606

《支出》

交通費補助	385,346
印刷代	85,279
集会費	60,170
支援カンパ	16,000
通信・事務費	87,125
若狭運営補助費	120,000
事務所費	315,580
雑費	26,425
支出計 ③	1,095,925
2021 年度繰越金	582,681
合計	1,678,606

『再稼働阻止全国ネットワーク』

連絡先 TEL 070-6650-5549 FAX 03-3238-0797 info@saikadososhinet.sakura.ne.jp

新住所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-1-1 高橋セーフビル 1F たんぽぽ舎気付

(たんぽぽ舎事務所移転につき住所が変更になりました)

共同代表 中島哲演(福井)／佐々木慶子(ふくしま WAWAWA-環・話・和の会)／柳田真(たんぽぽ舎)

近藤亨子(伊方から原発をなくす会)／佐野慶子(元静岡市議会議員)

近藤ゆき子(刈羽村 生命を守る女性の会)／鎌田慧(ルポライター)／広瀬隆(作家)

・再稼働阻止全国ネットワークホームページ saikadososhinet.sakura.ne.jp/

・郵便振替口座 [00110-0-688699] 加入者名：[再稼働阻止全国ネットワーク]

・銀行など 預金種目：当座(ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900 店番：019)

店名：〇一九店(ゼロイチキョウ店) 口座番号：0688699

・会費(年間)：団体会費一口 5000 円 個人会費一口 3000 円